

【授業科目】看護研究 Nursing Research

担 当 教 員		開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィス アワー	教職員への 授業公開
杉崎 一美		3 年次 前 期	必 修	1	1 5	講 義	あり	巻末 掲載	可
授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック方法	授業概要／看護研究の意義、リサーチクエスチョン、研究テーマの決め方、文献レビューと文献検索の方法、研究計画書の作成方法、研究における倫理的配慮、量的研究と質的研究に関するデータ収集と分析、さらに研究成果を伝える方法について教授する。文献検索を行い、文献の整理とクリティークの基本を学ぶ。 課題に対するフィードバック方法／学習状況を把握し、必要な内容について適宜全体に講義時間内にフィードバックを行う。								
実務経験に関する 授業内容	看護師の臨床経験をもつ教員が、看護師として必要な看護研究の知識と実践について、文献資料・教材を交えながら指導していく科目である。								
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け看護を主体的に学び、将来に向け看護を主体的に学び、人間として自己の成長に努め、専門職としてのキャリアの基礎を形成することができる。」の達成に寄与している。								
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	①看護職にとって研究とは何か、看護研究の概要が説明できる。 ②パソコンを用いて文献検索でき、文献を整理しクリティークすることができる。 ③質的研究、量的研究について説明できる。 ④研究における倫理的配慮について説明できる。 ⑤研究計画書・研究論文の書き方について説明できる。								
時間外学習に必要な 内容・時間	事前学習：シラバスに沿って講義を進めるので、該当する単元を事前に読んでおく（各 120 分）。 事後学習：研究で用いられる様々な用語や研究方法について復習しておく。また予習してきた内容を再度講義後に教科書にて確認しておく。また必要に応じて事後課題を課す（各 120 分）。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2 単位 1 5 回科目の場合：予習+復習 4 時間／1 回）（1 単位 1 5 回科目の場合：予習+復習 1 時間／1 回）（1 単位 8 回科目の場合：予習+復習 4 時間／1 回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。								
授業計画	第 1 回 看護研究の目的と意義、研究成果の活用、研究疑問（リサーチクエスチョン） 文献レビュー・クリティークする際のポイント 第2回 質的研究 1)質的研究デザインと特徴 2)質的研究の種類 3)質的研究のデータ収集 4)質的研究の分析 第3回 量的研究 1)量的研究デザインと特徴 2)量的研究の種類 3)量的研究のデータ収集 4)量的研究の分析（尺度と検定方法の関係） 第 4 回 文献検索の実際（演習） パソコンを活用した検索方法 1 クラスを 4 分（約 30 名）し、図書館司書による文献検索の講義を受ける。 1 人で 1 台のパソコンを利用し、インターネット文献検索の実際をする。 第 5 回 文献の整理（グループワーク） 第 6 回 文献クリティーク（グループワーク） 第7回 研究計画書の作成 1)研究計画書の機能 2)研究計画書の書式と書き方 研究における倫理的配慮 1)看護研究における倫理指針 2)研究倫理申請書（依頼書、同意書等） 第 8 回 研究成果のまとめ方 1)学会発表 2)論文作成								全て 杉崎
評価方法 評価基準	定期試験 50%、レポート・授業参加度 50%（文献の整理、文献クリティーク）								
教科書	坂下玲子他『系統看護学講座 看護研究』医学書院				参考書等	講義の中で適宜紹介する。			
学生への 助言等	看護実践の質向上には研究力が必要となります。教育研究機関や看護実践の場である病院や施設でも熱心に取り組まれています。研究論文ができるまでの基本的なプロセスを学びましょう。								